

平成25年度事務事業評価及び特定分野評価（補助金）
に係る改善計画書

事業名	応急手当普及啓発推進事業				
所管課名	消防防災課		課長名	染矢敬一	
事業の目的と実施内容					
目的	町民・事業所の従業員を対象とした普通救命講習会等を実施し、応急手当に関する正しい知識と技術を習得し、救急現場等において、その場に居合わせた人の誰もが応急手当ができる町づくりを目指す。				
内容・方法	「私もわが家の救急隊員」をキャッチフレーズに平成5年から実施。平成13年には「応急手当普及推進の町 愛川」を宣言した。平成16年からは誰もがAEDを使用することが可能になったことから、随時講習会を開催している。また、平成18年からは小学生を対象にBLS講習会も開催している。				
1 評価結果及び町の最終方針					
自己	改善して実施する	1次	改善して実施する	2次	—
今後の方向性に係る意見等（最終）			町の最終方針		
効率性の評価がCとなっているのは、講習用資機材の購入により事業費が増加したためであり、効率性が悪化したことによるものではないと判断するが、救命講習会の受講者増加に向けた所管課の方向性と共に、より効果的な事業について検討すること。また、既受講者へのフォローについても検討すること。			平成26年度に実施する救命講習会において、受講者を対象にアンケートを実施し、アンケート結果を基に周知方法及び既受講者へのフォローを含めた事業の実施方法について検討する。		
2 町の最終方針を実施するための具体的な方法					
項目名	時期（期限）	具体的な改善等の内容			
受講者アンケート	H26.12	受講者アンケートを集計し、既受講者へのフォロー案検討			
普通救命講習会	H27.4	アンケート結果を踏まえた講習会の実施			
3 改善後の事業が目標とする成果					
指標の名称 ※原則として評価時と同一	単位	基準年度 (H25)	H26	H27	
年間の普通救命講習会受講者数	人	1,100	1,100	1,100	
目標とする成果の設定理由	町民誰もが応急手当を身につけ、傷病者の誰もが社会復帰が可能になる、人にやさしい町づくりを目指す				
4 経費等の見込み					
		H25	H26	H27	
事業費（予算） 単位：千円		1,923	2,086	2,086	
概算職員数 単位：人		1	1	1	

5 改善等工程表

項目名 (2 町の最終方針を実施するための具体的な方法と一致)		平成25年度				平成26年度												平成27年度											
	工程名	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				
受講者アンケート						→																							
事業実施方法の検討															→														
アンケート結果を踏まえた講習会実施																		→											